

201 『ピュアな喜び』 愛光

<良い点>

花びらの白を色トビさせずかつ明るく撮れていてとても表情が伝わってきて良いですね。背景の色味や明るさも主役を引き立てるちょうどよい露出で、右上と左下に入った黄緑が良いアクセントになっていると思います。

<改善点>

ピントがどこにも合っていないのが残念です。せっかくこちらを向いてくれているので、しっかりとシベの先端に合わせてあげましょう。構図も左側の賑やかさに比べて右側がシンプルなので、そのバランスを取るためにも右側をやや狭くして安定感を出してあげると良いと思います。

202 『春のほほえみ』 愛光

<良い点>

しっかりと手前のシベの先端にピントが合わせられているので、視線が迷うことなくそこに注がれます。またお花の咲いている向きに対して空間を広く取れているので構図も安定していますね。

<改善点>

この撮影距離でこの絞りだと被写界深度が浅くて少しボケ味が強すぎるかなと感じます。もう少し絞って主役のディテールをしっかりと出してあげた方が生命感が増すと思いました。また左上に少しだけ写っているシベは視線が持っていかれてしまう可能性があるため、この部分はいれない方が良かったかなと思います。あとは全体的にマゼンタかぶりしていて本来の色味と少し違う印象なのが残念ですね。

203 『春のかおり』 愛光

<良い点>

このお花の向きに対してピントの合わせた位置が良く、主役の表情がしっかりと伝わってきますね。背景も主役の周りは緑にして主役を目立たせ、主役から遠いところに色味を付けて変化を加えそれが写真全体の良さに繋がっています。露出や色味も美しいですね。

<改善点>

枝のディテールが強すぎて視線が持っていけてしまいますね。主役の美しさを邪魔してしまっている気がしますし、半分ほど写っている上の花も主役を引き立てる役目にはなっていないと感じますので、いっその花と枝のほとんどをいれないようにした方が良かったかなと思いました。

204◎ 『私を撮って♡』 八千代

<良い点>

主役の露出、角度、ピント、大きさがとても良く、かつしっかり後に青を配置できているので、迷うことなく視線が注がれ、主役の美しさを最大限に引き出せていると思います。さらにこの印象の強い主役を引き立てるのに相応しいしっかりした前ボケと、まるで雲に浮かんでいるような後ボケの花たちがこの世界をとても奥深いものにしてくれていると思います。とても素晴らしい作品だと思います。

<改善点>

主役の位置がほんの少し中心すぎて、写真右の重さに比べて左が軽くアンバランスさを感じますので、少しだけ左側を切り取って主役をやや左に寄せてあげると、構図もしっかり安定するかなと思いました。

205 『コスモス畑で』 八千代

<良い点>

全体をしっかりと明るくしつつも色トビをさせない露出になっているので、落ち着いて見ていただけますね。柔らかい雰囲気の中に主役が埋もれることなくしっかり存在感を放っているので、生命感も強く伝わってきます。空の青も良いアクセントになっています。

<改善点>

左下角のディテールがしっかりしている花たちは、視線が持っていかれてしまって迷う原因になりますので、ここは入れない方が良かったかなと思いました。思い切ってトリミングしても構図のバランスは崩れないと思うのでぜひやってみてくださいませ。

206◎ 『もう少し待ってね』 八千代

<良い点>

この背景の美しい色の変化に誰もが心奪われてしまうと思います。ここを切り取れたことが何よりも素晴らしいですね。露出も文句なしに良いです。そしてその背景に合わせたような主役の配置の仕方が秀逸で、とてつもない奥深さを感じさせてくれました。ずっと見ていられるとても素敵な作品に仕上がっていると思います。

<改善点>

主役の枝の下部ギリギリに写っている見切れている葉、これを入れるならもっとしっかりと入れる、入れないなら完全に入れない、どちらかにしていれば僕の中では間違いなく準グランプリ候補でした。中途半端に見切れて写っているせいで少しだけ視線が迷ってしまいました。

207 『こんなところに隠れてたのね』 八千代

<良い点>

対角線で区切られた白とピンクの背景が良いですね。全体をふんわり仕上げているのもこのシチュエーションにとっても合っていると思いました。

<改善点>

主役が背景に溶け込みすぎていて、埋もれがちになってしまっているため、少し生命感が弱いかなと感じました。全体的にふんわりさせすぎだと思うのでもう少し絞っても良かったかもしれません。左上に写っている花が必要以上に存在感があって視線が持っていかれてしまうので、その対策も必要かと思いました。

208 『桜でハートのフレーム』 八千代

<良い点>

前ボケでフレームを作り、子供さんのポートレートを撮影する。とても楽しい作業ですよ。子供さんの表情も、こっちを見ているんだけど凝視しているわけではなく自然な感じで良いと思いました。

<改善点>

マゼンタかぶりしているのか、子供さんの肌や唇の色が本来の色味とかけ離れていて、違和感を感じます。花ならまだしも人間の色味はできるだけ自然な仕上がりにしてあげましょう。また右下の枝の前ボケは少し喧しいので、入れるにしてももっと量を少なくした方が良かったかなと思いました。

209 『きれーい!!!』 八千代

<良い点>

この背景に対し子供さんの位置がとても良く、しっかりロケハンができているなという印象を受けました。子供さんの仕草と表情がとても素敵で撮影者の「愛」を感じます。素敵な一枚ですね。

<改善点>

この雰囲気を出すにはこれくらいしっかり明るくするのが正解だと思いますし、若干の色トビは良い効果を生んでいますが、ほんの少しだけ抑えた方が子供さんの表情などがより伝わってきて良かったかなと思いました。あとは子供さんと後の背景にいる人が被ってしまっていてちょっとやかましすぎる気がしますので、ここは被らないように配置してあげたかったですね。

210 『お花畑』 朱鳳

<良い点>

ガチピンとまではいきませんがほぼ蝶の眼にピントを合わせることができているため、生命感がしっかり出せていると思います。左のブルーの前ボケも主役を引き立てていますね。

<改善点>

右側の背景が暗く重さを感じてしまいます。同時に右の空間が広すぎると、蝶の視線の先の狭さを考えると写真下部もやや広いかなと感じますので、背景の暗い部分をしっかり明るくしつつ、写真の下を少しと右を5分の1くらいトリミングしてあげると良いかなと思いました。また蝶は垂直すぎて不自然さも少しあるかなと思うのでやや角度を付けてあげても良いかもしれません。

211 『模様』 朱鳳

<良い点>

蝶を斜め後ろの上から俯瞰的に撮影することで、立体感が出て野生の生命の強い存在感が伝わってきますね。また蝶の濃い色味に対して優しく柔らかい色味の背景をふんわり配置できているので、とても良い引き立て役になってくれています。

<改善点>

蝶の眼にピントが来ていないのが非常にもったいないですね。生命感をしっかり出すには眼にガチピンが基本ですから、しっかり合わせるようにしましょう。背景の左側が右に比べて軽すぎてアンバランスに感じますので、縦横比を変えて写真の左4分の1くらいをトリミングすると良いかなと思いました。

212 『力強さ』 朱鳳

<良い点>

撮影角度のおかげで、蝶の美しさだけでなく周りの花の美しさも伝わってきて、とても楽しく感じました。露出がとても良いので全体的に落ち着いて見ることができますね。

<改善点>

やはりピントですね。特に動物を撮影する場合は何よりも最優先すべき事なので、眼にガチピンを最大限に意識して、この子の生命感をしっかり出してあげましょう。写真右端の部分が暗くディテールのにも周りを活かしている感じではないので、縦横比を変えて写真の右5分の1くらいをトリミングしてあげると良いかなと思いました。

213 『蜜はどーこだ！？』 朱鳳

<良い点>

主役の眼にピントが合っていて、かつ特徴のある羽のディテールがしっかり分かる角度で撮影できているので、主役の生命感がしっかり伝わってきます。美しい色合いの花たちとの対比も面白いですね。

<改善点>

この対比をトコトン楽しんでもらうために、思い切ったトリミングをすると良いかなと思いました。右は4分の1くらい、上下と左は8分の1くらい切り取ってあげてみてはいかがでしょうか？あとは主役だけをもう少し明るくしてあげるとより存在感が増すかなと思います。

214 『ちょっと休憩』 朱鳳

<良い点>

主役の色味と背景の渋めのグリーンがマッチしていますね。白も良いアクセントになっています。背景に対する主役の大きさも良いですね。

<改善点>

ピントが…ですね（笑）、しつこく言いますが眼にガチピンが鉄則です。頑張りましょう。背景の左上がごちゃついていて少しやかましく、視線が持っていかれがちになってしまうので、この部分は入れない方が良かったかなと思いました。あとできれば紫色を一切入れないようにして、白と緑だけで背景を作った方が主役が引き立つかなと思います。

215 『しあわせ』 さち

<良い点>

背景の明るさが良く、かつ色味の変化がとても美しいので、主役をしっかり引き立ててくれていると思います。そしてその主役もピントをしっかり手前のシベに合わせられているので生命感が強く伝わってきました。

<改善点>

左右に花が付いているため枝を垂直に配置したのは良い試みだとは思いますが、枝の位置まで写真のほぼ中心に持ってきてしまうと、全てが整いすぎていて自然らしさが足りず逆に不安定さを感じます。バランスを考えると枝をもう少し右に持ってきてはどうでしょうか？つまり同じ縦横比で写真の右と下を少しトリミングしてあげると良いかなと思いました。

216 『雨上がり』 八千代

<良い点>

露出が良く紫のグラデーションがとても美しく表現できていますね。雫たちが明るめの色の背景に配置できているのが良いですね。

<改善点>

雫のピントが甘いのかフィルターなどを使って解像度が落ちているせいか、雫の印象が弱く感じます。この大きさと存在感をしっかりと出すにはもっとクリアに表現した方が良かったかなと思いました。

217 『たくさんの仲間とともに』 愛里

<良い点>

陽の光に向かって咲いている花たちをあえて後ろから撮ることで、生命感が強く感じられて素敵ですね。画角も良く背景もしっかり構成できているので、写真に写っていない部分までこの世界が広がっているような感じにさせてくれます。

<改善点>

マゼンタが少し強いでしょうか。若干色味に不自然さを感じました。あとは細かな部分ですが、右下角付近にピントが合っていない枯れかけの花があって、そこに視線が奪われがちになってしまうので、これは入れない方が良かったかなと思いました。

218 『カラフルなレストラン』 愛里

<良い点>

背景に対して主役の大きさが良く、また対角線上に配置できているので、全体としてとてもまとまりのある一枚に仕上がっていますね。主役の色の派手さに負けないように背景にもしっかりと色を散りばめられているのも良いと思いました。

<改善点>

解像度が低いせいか眼のピントが甘く感じ、その分生命感が少し足りない感じがしました。カメラのスペックにもよりますが、最高画質でかつできるだけトリミングをしない撮影を心がけましょう。写真右上の部分が少しごちゃついていて視線が持っていかれてしまうので、ここは入れない方が良かったですね。

219 『至福のひとつ』 愛里

<良い点>

小さい被写体ですが眼にピントが合っているので生命感がしっかり出ていますね。前ボケの作り方も上手く効果的だし、特に中心付近の露出が良く視線がしっかり注がれます。

<改善点>

ずっと見ていると、背景の外周部が暗くごちゃごちゃしているのが気になってきて、視線が主役に戻って来にくいですね。同じ縦横比で上下左右を少し切り取ってみてはいかがでしょうか？

220 『楽しいアリのアスレチック』 愛里

<良い点>

蟻とお花のディテールがしっかり伝わる角度で撮影できていて、かつピントも蟻の眼に合っているので、写真全体から生命の強さがとても感じられ、また蟻の黒が色ツブレしないギリギリの暗さで表現できていることで、この「赤と黒」の情熱的な世界観が心の奥にまでしっかり伝わってきて、素晴らしい作品に仕上がっているなと思いました。

<改善点>

右に比べて左側がやや軽く、写真全体が右に引っ張られている感じがして少しアンバランスなので、ほんの少しだけ左側をトリミングしてあげると良いかなと感じました。同じ縦横比であればその分上も少し切り取っても良いかもです。

221 『すき通った花びら』 里々咲

<良い点>

主役を真後ろから捉えられているので存在感がしっかり伝わってきました。左にある斜めに伸びた個体が主役を引き立てる良い存在になっていますね。

<改善点>

前ボケがやかましすぎてそっちに視線が持っていかれてしまいますね。もう少し入れる量を少なくしてあげましょう。また逆光のせいで暗部が強すぎますので、現像処理なので暗部を持ち上げてあげましょう。右上角にある黒っぽい部分は不必要な部分だと思いますので入れないように撮ってあげたかったですね。

222 『ずっと友達だよ』 里々咲

<良い点>

爽やかなブルーの中に淡い紫の花びらが美しいですね。縦構図にしたことで空の高さも感じられて良いと思います。白い雲も良いアクセントですね。

<改善点>

ほんの少しマゼンタが強いかなという印象を受けました。あとは写真下部にある蕾は見切れてしまっていて視線が奪われる原因になっているので、これは入れない方が良かったですね。

223◎ 『ぐるぐる』 里々咲

<良い点>

マクロ撮影ならではの世界観をしっかりと表現できていますね。露出がとても良く赤と白の美しさがとても伝わってきました。お花の中心を写真のど真ん中から少しズラせていることが構図の安定さにも繋がっていて、ずっと見ていられる作品に仕上がっていると思いました。素晴らしい一枚ですね。

<改善点>

とても上手く撮影できていると思いますが、できればお花の中心部のディテールがもっとあるとより力強い生命感が出せたかなと思います。この絞りや撮影距離でかなり難しいとは思いますがそこにガチピンできていれば準グランプリ候補でしたね。

224 『バラのソフトクリーム』 里々咲

<良い点>

お花をしっかり真上から捉えることができているので、花びらたちが折り重なっている様よく分かり、また露出もとても良く写真の中に存在する全ての色の美しさがしっかり出せているので、まるで芸術作品のような美しさを写真全体から感じることができました。素晴らしい作品だと思います。

<改善点>

お花の中心を写真のど真ん中に持ってきたため、この撮影距離では写真下部に花びらが写り込まなくなってしまっていて、そこだけ何か足りない感じがしてしまいますね。構図自体は悪くないと思うので、もう少しだけ引いて写真下部にも花びらを写し込んであげれば良かったかなと思いました。

225 『ポンポンチェリー』 里々咲

<良い点>

主役をどれくらいの大きさでどこに配置すれば最も主役が輝くのか、しっかり考えて撮影されたのが伝わってくる一枚ですね。構図がとても素晴らしいと思いました。またピントの置いた位置や被写界深度、かつ露出も適正でお手本のような作品に仕上がっていると思います。

<改善点>

ただこれを言ってしまうと元も子もないんですが、僕はこの写真に不要なものはズバリ「雫」だと感じてしまいました。このお花の美しさを伝えるためには雫はなかった方が良かったかなと思います。逆にこの花と雫の両方を活かすのであれば、思い切りクローズアップして雫をもっと大きく写し、雫とお花だけの世界で写真を構成すると良かったかなと思います。

226 『ちょんちょん花びら』 里々咲

<良い点>

独特の世界を美しい色味と落ち着いた露出で表現できていて、ピントの合っている部分を中心付近においていることで最初の視線をしっかり誘導できているので、作品としての完成度はなかなか高いと思います。

<改善点>

左の端にもピントが合っている部分があるので、時々そっちにも視線がいきってしまい迷いが生じますね。もう少し中心付近なら良かったかなと思いました。

227◎ 『後光』 SARU

<良い点>

逆光かつ太陽そのものを入れていて、とても露出が難しいシチュエーションなのに、写真内にあるすべてのものの露出が良く、かつ下からのアングルで縦構図で撮影できているので地面から空の向こうまでの奥行きがしっかり出せていて素晴らしいですね。蕾と右のもう一つの花の配置も良くとても良いアクセントになってくれています。

<改善点>

特に大きな改善点もなく、とても良い仕上がりになっていると思いますが、若干お花に比べて太陽の印象が強すぎるかなという気がするので、もう少しだけ太陽と花びらを被せても良かったかなと思いました。

228◎ 『ミスト・ネックレス』 SARU

<良い点>

まずとても印象的な雫の付き方をしているこのシチュエーションを見つけられたことが素敵だなと思いました。そしてその雫をしっかり表現できているところ、全体の露出が良く背景の美しさがとても出ているところが素晴らしいと思います。

<改善点>

やや右下の空間が広すぎてアンバランスさを感じるので、少し狭めてあげると良いかなと思いました。あとはノイズが少し気になるのでその対処ですね。使用フィルターの解像度の問題もあるかもしれません。

229 『バラのハッチアウト』 組写真 SARU

<良い点>

光の玉ボケを使った面白い写真たちですね。光の明るさをしっかり伝えるためのオーバー気味の露出も良いと思います。

<改善点>

組写真というより、5枚の中でどれが一番好みか選んでくださいという、質問を投げかけられているような気がしました。花が少しごちゃついていて、この組写真の統一された題材である「光の玉ボケ」の良さが少し損なわれているのが原因かなと思います。それぞれの玉ボケの良さを見せるのであれば、それをしっかり引き立てるための材料を揃えるべきだったかなと思います。ちなみに一枚一枚違う材料でも良いかなとも思いました。

230 『紫煙』 SARU

<良い点>

主役の美しさを最大限に引き出すために、脇役や背景をどう見せれば効果的か、それをしっかり考えて撮影できている、素晴らしい一枚だと思いました。撮影者の想いが伝わってくるような「奥深い」作品ですね。

<改善点>

それだけに細部までもっとこだわってもらいたかったかなと思います。やや右の空間が広く若干構図に不安定さを感じるどころ、ノイズが少し出ているところ、右下角に少しだけ写ってしまっている緑や主役の中心付近にごくわずかにだけ見えてしまっているシベの黄色が不要なところ、良い写真ほど小さなアラが目立つものです。

231 『ファンシー』 SARU

<良い点>

力強く伸びた茎としっかり咲いた花を、縦構図で左下角から斜めに配置できているので、とても自然らしさを感じられて良いですね。背景の色の变化も美しいと思います。

<改善点>

縦構図は良いのですが、縦長すぎて視線が泳いでしまうのと、左下角の茎の部分がごちゃごちゃしていてそこに視線が奪われてしまいがちになるので、縦横比を変えて写真下部を切り取ると良いかなと思いました。また背景の色味はこれで良いと思いますが、茎の色と花の色がマゼンタ被りしていて本来の色味はなくなってしまうので、本来の自然な色味にしてあげた方が良いかなと思いました。

232 『充滿する光彩』 SARU

<良い点>

美しい背景がとても素敵ですね。色味、露出ともうまくコントロールできていると思います。主役を思い切り左下角に持ってこれているのも、この背景の良さがあるからこそですね。セオリーとは少しかけ離れていますがこの構図は成立していると思います。

<改善点>

主役の位置は良いとして、もう少しお花の表情が分かれると背景とより釣り合ったかなと思いました。真横からではなくやや角度を付けると良いかと思います。花の下に写っているディテールが出ている葉は視



線が持っていかれる要素になるので、うまくボカすか入れない方が良かったですね。

233 『如月の風雨』 組写真 SARU

<良い点>

5枚とも露出が良く色味も自然で、お花や背景の美しさがストレートに伝わってきました。それぞれ主役を活かした構図も構築できていますね。

<改善点>

1枚目と2枚目のシチュエーションが同じ(撮り方は変えてますが)、4枚目と5枚目も近い感じがして、結果的に5枚あるのに大きな変化が3パターンしか感じられないので、組写真として見せるのは効果的ではないと思いました。同じ被写体でそれぞれにしっかり違いを感じさせる組み合わせにすべきでしたね。僕は1、3、5枚目の3枚だけで良かったかなと思いました。

234 『発光』 SARU

<良い点>

白を黒の背景で見せてくれたことがとても印象的で心に残りますね。その背景も黒で埋め尽くすのではなく、優しく明るい色味も入れることができているのでとても良いバランスが取れていると思いました。

<改善点>

主役の花びらの白トビがきつすぎてお花の表情が伝わりにくいのが残念ですね。黒背景なのでやや白トビ気味に見せるのは効果的だとは思いますが、流石にここまで飛ばしてしまうとずっと見ていられなくなってしまいます。もう少し白トビを抑えてあげましょう。

235 『ふわっと着地』 なる

<良い点>

とても細い枝なのできっちり対角線ではなくやや角度を弱めて配置できていて、かつ主役を中心から少しずらしてあるので構図にとっても安定感がありますね。背景の色味や露出も良く美しいです。

<改善点>

主役の存在感が元々弱いので、それをこの小ささで表現してしまうと少し物足りなさを感じます。かといってせっかくの美しい背景や良いアクセントになってくれている枝がありますので、今よりも少しだけ同じ縦横比で上下左右を切り取ってあげると良いかなと思いました。

236 『恵みの雨』 なる

<良い点>

独特な形をした被写体を雫が付いたシチュエーションで見せることで、被写体の生命感がより伝わってきますね。シンプルな背景のおかげで被写体と雫の存在もしっかり感じられます。ピントも合っていてかつ絞りや撮影距離が良いのでディテールもうまく出せています。素敵な作品だなと思いました。

<改善点>

左下の空間が気持ち広くやや構図的に不安定さを感じます。同じ縦横比で下と左を少しだけ切り取ってみてはいかがでしょうか？

237 『青空に咲く』 なる

<良い点>

前ボケを作りつつ低いアングルからの撮影のおかげでしっかり空も抜けていて、とても奥行きを感じる一枚ですね。縦構図したのも効果的です。

<改善点>

主役である黄色のお花の小ささに対し、濃いピンクの前ボケや主役の右に写っているややボケたお花の存在が強すぎて、主役の存在感が弱くなってしまっています。最初にこの写真を見たときにまっすぐに主役に視線を誘導できるように、周りの配置をしっかりと考えて撮影すると良いかなと思いました。

238 『秋色』 なる

<良い点>

しっかり大きく写した主役に負けないくらい、周りの構成がしっかりできているので、その結果主役が写真の中でちょうど良い存在感で表現できています。葉の裏のディテールをしっかり出せているところも生命感があって良いですね。ピントや露出も良いと思います。

<改善点>

気持ち右側の空間が広くかつ右上のごちゃついている部分があるので、そこに視線が奪われがちなのと、下の葉先から写真端までの空間が狭すぎるのが気になりますね。その2点が改善できていればより構図に安定感が生まれたかなと思います。

239 『小さな宝石』 なる

<良い点>

主役である一番大きな雫の配置が絶妙で、周りの小さい雫たちは言うまでもなく右側の緑や左下の濃い紫も変化をもたらしてくれているので、とても安定感のある構図に仕上がっていると思います。露出と色味も良いです。

<改善点>

主役の雫のディテールが少し弱く、ともすれば周りの背景に飲み込まれてしまいそうな感じがするのが残念ですね。もう少し絞りガチピンさせ、もっともっとディテールを出してあげると良いかと思いました。

240 『しづく』 なる

<良い点>

このシチュエーションを見つけ、このように切り取ったことがとても素晴らしいですね。主役の良さを最大限に見せる方法を考えられていると思いました。

<改善点>

ここまで主役（雫）を大きく見せてその美しさを感じてもらうためには、雫の透明感やディテールがもっと必要になってくると思います。そのためにはどうすれば良いのか今一度考えてみましょう。左上の白トビが強すぎて視線が奪われてしまうので、そこも改善すべき点ですね。

241 『美しく染まって』 めぐみ

<良い点>

左上から伸びている枝に対し、右と右下の空間量がちょうど良く、構図に安定感がありますね。左側のボカした背景も効果的です。

<改善点>

ほんの少しマゼンタが強いかなと感じます。そこまで違和感はないですが少し緩めてあげた方が自然らしさが出て良いかなと思いました。ピントは少し甘いせいか主役の存在感が弱い気がしますので、しっかりピントを合わせてあげましょう。

242 『素敵な出会い』 めぐみ

<良い点>

小さい生命を小さく撮る、背景をその生命が存在している環境を優しく包むように写し込む。この効果で主役の生命感がとても出ています。

<改善点>

主役が小さいのでそれ以外はできるだけシンプルにすべきです。前ボケの枝と主役とかぶってしまっている後の枝は不要でしたね。主役を活かすための「引き算」が大切です。また太陽光の角度のせいでやや明暗の差が強く出過ぎていて視線が迷ってしまいがちになるので、編集で明暗の差をやや少なくしてあげると良いかなと思いました。

243 『澄み渡る青空の下』 めぐみ

<良い点>

背景の白と青が美しく表現できていますね。良い露出で撮影できていると思いました。

<改善点>

主役のピンクが一部色トビしてしまっていてそこに視線が奪われがちになってしまいます。太陽光の角度にも原因があるような気がしますので、もう少し柔らかい光が当たる時間などに撮影すれば良かったかなと思いました。また主役の花よりもその枝のディテールが出過ぎていて気になるので、主役の入れ方の工夫も必要かなと思います。

244 『可憐に美しく』 めぐみ

<良い点>

被写体の姿を考えて縦構図におさめたのは良い判断ですね。ピントもうまく合わせられていて小さいながらも視線が迷わずに向かうことができました。

<改善点>

全体的にマゼンタが少し強いでしょうか。やや気になりますので弱めてみてはどうでしょうか。右下の前ボケも主役の小ささを考えると存在感がありすぎると感じますので、もう少し控えめに配置できると良かったかなと思います。

245 『草花の宝石』 めぐみ

<良い点>

雫のディテールがしっかり出せていて透明感もあるのがとても良いですね。露出も良いのでこのシチュエーションのそのままの雰囲気もしっかり伝わってきました。

<改善点>

主役がかなり左にあって、右端にごちゃついた部分があるので、視線が左と右で行ったり来たりしてしまい落ち着かないです。右側は入れない方が良かったと思いますので、同じ縦横比で右側5分の1くらいと下を切り取ってみてはどうでしょうか？

246 『サザンカと光』 耀子

<良い点>

主役の咲いている方向にしっかり空間が取れていて構図に安定感がありますし、その写真右の背景の露出や色味、構成がとても美しいですね。

<改善点>

左端の前ボケがやかましくて主役の存在感を弱めてしまってますので、これは入れない方が良かったと思いました。切れているように見える枝の先端も気になるので縦横比を変えて写真の左5分の1くらいを切り取ってしまうのも良いかなと思います。

247 『春のデュエット』 Njie

<良い点>

やや白トビ気味だけどディテールがしっかり伝わる花びら、そして優しい影が晴天というコンディションをうまく表現できていますね。太陽光の角度と露出が良い証拠だと思います。

<改善点>

ピントがどこに合っているのかが分かりにくいのでお花の存在感が弱く感じてしまいます。こっちを向いてくれている花のシベの先端にしっかり合わせましょう。全体的に色味がマゼンタ被りしてしまっていて不自然なのでもう少し自然な色味にしましょう。

248 『嬉し咲き「春」』 Njie

<良い点>

対角線上にメインを配置し、主役の向きを考えた空間を取れているので構図に安定感があります。青、緑、ピンクの3色の背景も美しいですね。

<改善点>

若干マゼンタが強いように感じます。少し弱めてあげて白の美しさをしっかり表現してもらいたかったなと思いました。左端に写っている右を向いた花が少しやかましく感じるのですが、全部を切り取ってしまうと構図のバランスが崩れてしまうので、少しだけ切り取ってあげると良いかなと思いました。

249 『美の饗宴』 Njie

<良い点>

ふんわりした明るめの露出が良いですね。ピントも合っていて存在感が出ていると思います。

<改善点>

全体的に色味がマゼンタ被りしてしまっていて不自然さを感じます。そのもの本来の美しい色味を出してあげましょう。主役の咲いている向きを考えてのこの構図だとは思いますが、全体のバランスを考えると右の空間が広すぎて左が重く感じてしまいますので、少しだけ左側を切り取ると安定するかなと思いました。

250 『潤桜』 Njie

<良い点>

優しい雫が印象的で、良い露出や絞り、角度で撮影できていると思いました。

<改善点>

左の前ボケが大きすぎて雫たちの良い引き立て役になれていないかなと感じます。写真の左4分の1くらいを切り取るくらいがちょうど良いバランスになると思いますので、同じ縦横比で切り取るならその分下も切り取っても良いでしょう。それでグッと写真が変わると思いますよ。

251 『好き!』 Njie

<良い点>

枝をやや斜めに配置したことで自然らしさを感じられますね。その上でお花をど真ん中に持ってこれているので構図も安定しています。

<改善点>

露出がオーバー気味で色トビしてしまっているなので、そこだけに視線が持っていかれてしまいます。色トビしないような露出で撮ってあげましょう。枝の先端が切れているのも気になるので、切れていない枝を選ぶか、切れている部分を写し込まないようにしてあげれば良かったかなと思います。あと全体的にマゼンタが強いのも気になりますね。